

本日は、今年度最後の「定例記者懇談会」の開催にあたり、大変お忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

報道各社の皆様には、日頃から当市の情報発信に特段のご尽力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、本日は、6点について、情報提供をさせていただきます。

最初に、大津波警報、津波警報による避難指示については、日本海側では、津波が非常に早く到達するため、強い揺れを感じたり、大津波警報や津波警報が発表されたときは、ただちに避難を始めることが重要です。今後、津波警報以上が発表された場合は、新潟県が指定する津波災害警戒区域に少しでも該当する地区を、予め対象区域と定め、直ちに避難指示の発令を行います。

避難指示発令中は、随時、防災行政無線等を使った情報提供を行い、警報から津波注意報に切り替わったタイミングで避難指示を解除することとしております。警報発表時は、市民が迅速に避難行動をしていただけるよう、周知に努めて参ります。

2点目、物価高騰対策リフォーム事業については、物価高騰の影響を緩和し、リフォーム工事の需要喚起による地域経済の活性化を図るため、住宅や店舗のリフォームを行った工事費の一部を補助いたします。補助金額は、補助対象工事費の4分の1、上限額は10万円であり、前回より補助率、上限額を嵩上げして実施いたします。

また、能登半島地震で被災した住宅、店舗等にもご利用いただけるよう、制度の拡充を行っており、被害に遭われた方のご負担が軽減されるよう支援して参ります。

3点目、地元就職を支援する事業については、地元就職を支援するため、令和6年度から新たに2つの事業を実施いたします。

1つ目は、高校の新卒者の地元への就職を支援する「地元就職お祝い運転免許取得支援補助金」であります。この事業は、地元就職した高校卒業生の通勤や生活に必要な自動車運転免許等の取得に対して、5万円を支援するものであります。

2つ目は、大学、短大、専門学校等の卒業生の市内雇用促進を図る「インターンシップ促進補助金およびインターンシップマッチング補助金」であります。

「インターンシップ促進補助金」は、市内企業が実施するインターンシップにおいて、学生の旅費等に要する経費を企業が負担した場合に、その一部を企業へ支援するものであります。

また、「インターンシップマッチング補助金」は、インターンシップを経て就職に至った場合に、就職した方にお祝い金を支給するものであり、市内への就職の促進、雇用の促進を図って参ります。

4点目、産前・産後サポート事業については、市では妊産婦が安心して出産、子育てができるように、助産師などの専門家が心と身体のケアや育児サポートなどを行う、産前・産後サポート事業を実施します。対象者は、妊娠期から産後1年頃までの妊産婦、乳児及びそのご家族で、助産師等の専門家による相談や保護者同士の仲間づくりができる集団型デイケアを開催いたします。

糸魚川保健センターや糸魚川地区公民館などを会場に、週1回半日、年間50回程度の開催を予定しており、産前・産後の運動や母乳相談のほか、離乳食や沐浴などのミニ講座や体験により、子育てのスキルアップを行います。妊産婦の妊娠、出産、子育てに関する不安や悩みを解消し、安心して出産や子育てができるよう、サポートして参ります。

5 点目、糸魚川市博物館、開館 30 周年記念行事については、平成 6 年に開館したフォッサマグナミュージアムと長者ヶ原考古館は、本年、開館 30 周年を迎えます。フォッサマグナミュージアムは、自然と文化の資源を結びつけることにより、専門家だけではなく、多くの方々から、糸魚川を地球探訪の場にさせていただこうと整備したものであり、また、長者ヶ原考古館は、長者ヶ原遺跡から発掘されたヒスイの大珠や火焰型土器をはじめ、市内で発掘された出土品等の展示と収蔵を行っております。

このたび両博物館が開館 30 周年を迎えるにあたり、皆様に感謝の意をお伝えするため、記念式典と特別展を計画いたしました。

記念式典は、4 月 21 日（日曜日）午後 1 時から、フォッサマグナミュージアムにおいて開催いたします。また当日は、特別展の第一段としまして、フォッサマグナミュージアムの 30 年を振り返り、これからの活動を考える企画等を準備しておりますので、ぜひ多くの皆様からお越しいただきたいと存じます。

6 点目、春の火災予防運動については、空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えることから、4 月 1 日（月曜日）から 4 月 7 日（日曜日）までの 1 週間、県下一斉に「春の火災予防運動」が実施されます。当市では、能登半島地震により大規模火災が発生したことから、地震による防火を重点に加え、子供から大人まで楽しく体験しながら防火について学べるイベントとして、イオンタウン駐車場でミニミニ消防フェスを行います。

消防訓練や防火啓発活動を展開し、一人ひとりの防火意識の向上を図って参ります。